

## 新型コロナウイルスワクチンと肝移植 まとめ

### 新型コロナウイルスワクチン(mRNAワクチン)について

- ・mRNAが体内で増幅することはない、ワクチン接種により新型コロナウイルス感染症を発症することはない。
- ・臓器移植後免疫抑制剤服用中でも接種できる。
- ・複数の海外移植関連学会から臓器移植後のワクチン接種について推奨されている。
- ・移植医療従事者、移植患者様のご家族も接種を推奨されている。
- ・ただし16歳未満、妊娠中の患者様は現時点では安全性が確認されていないことから接種対象外である。

### 副反応について

- ・接種部の反応: 疼痛、発赤、腫脹など
- ・全身の反応: 発熱、倦怠感など
- ・多くは接種後1-2日で改善する
- ・頻度は異なるが、副反応の症状は他のワクチンと大差なし

本邦の統計では移植後患者はCOVID-19に感染した場合の死亡率5.9%(5/85)。

日本移植学会HP参照